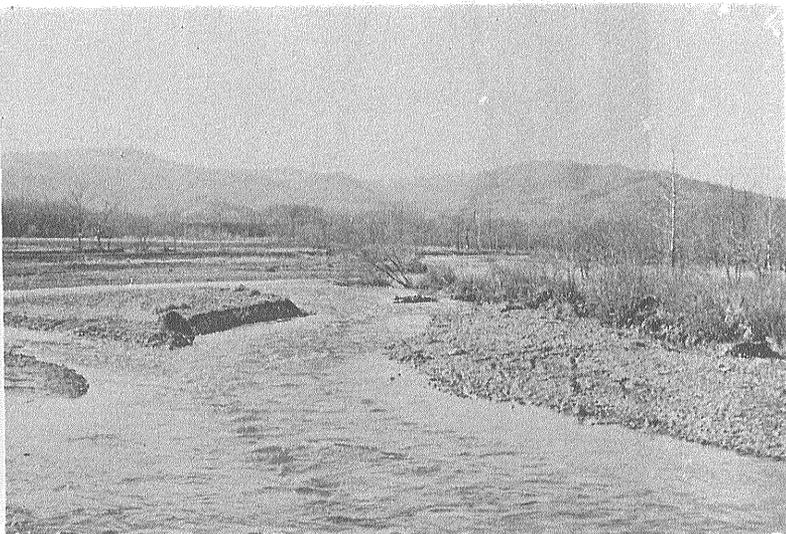
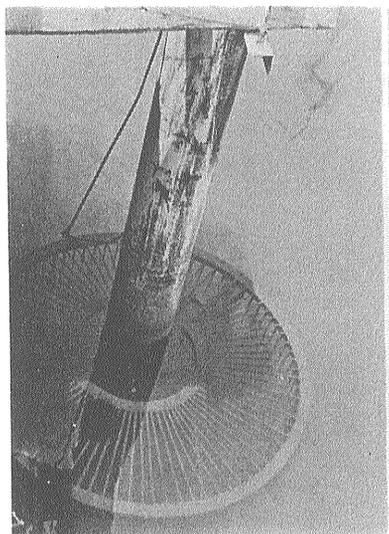


用水型工業の適地

用水型工場の級別とおもな業種*

規模	級別	用水量 m ³ /日	おもな業種
大規模	1級	100,000以上	○△鉄鋼 - 貴工業 △大規模紙パルプ ×スフ ×総合合成化学 ガス
	2級	30,000~50,000	○石油精油 ×合成繊維 カーバイド~肥料 写真工業 電気化学 製
	3級	10,000~20,000	△中規模製紙 △大規模合成薬 自動車工業 ×酸水素工業
中規模	1級	7,000~8,000	×紡績 硝子 △セメント 電気鉄 工業薬品 アルミニウム工業 麦酒 乳業 ×製薬 洗剤
	2級	3,000~4,000	×製薬 油脂化学 搾油 中規模製鋼 晒染色 ×レコード △小規模製紙 伸銅電線
小規模		2,000前後	×製氷 ○火力発電 正油など食品 ハードボード 澱粉 ゴム加工 精機 酒造 缶詰 ビニール
		1,000以下	○電気器具 ○精糖 農薬 食品加工 木工 金属加工 紙加工 窯業 機械 ヒューム管

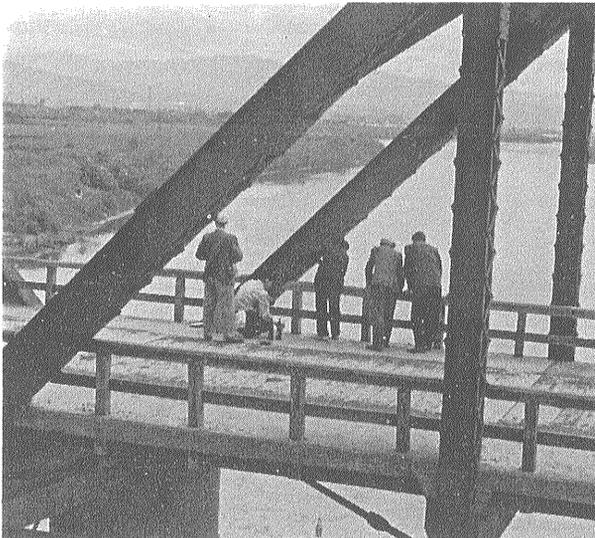
- *1) 同じ業種でも規模、製造方法、会社の違うことによって用水量にかなりの相違がある。比較のおおきな一流工場を標準にとり示している
- 2) 表中○印は 海水依存度との関係があるが 最少限このくらいの淡水があれば立地できるという意味
- 3) 表中△印はとくに大量の用水を回転使用可能な業種 ×印はとくに低温な冷却用水を必要とする業種



銅路平野背後地の清流

用水型工業の立地適地

- 地下水を主水源にでき 日量3,000m³以上10,000m³までの用水量の用水型工場が立地可能なところ
- ◎ 地下水を主水源にでき 日量10,000m³以上の用水量の用水型工場が立地可能なところ
- ▲ 河川・湖沼など地表水を主水源にでき 日量3,000m³以上10,000m³までの用水型工場が立地可能なところ
- △ 河川・湖沼など地表水を主水源にでき 日量10,000m³以上の用水型工場が立地可能なところ
- 地表水・地下水を併用して水源にでき 日量3,000m³以上10,000m³までの用水型工場が立地可能なところ
- 地表水・地下水を併用して水源にでき 日量10,000m³以上の用水型工場が立地可能なところ
- ▨ 工業用水道の建設により 大中に水源事情が好転しえるところ
- ▮ 水源のたしかかな工業用水道計画があり それができはじめて用水型工場の受入れが可能となるところ



北上川にて



豊平川の伏流にうるおう札幌市郊外

